

## 朝来中学校へようこそ

本校区は但馬の南に位置し、その大部分を山林が占め、中央を南から北へ円山川が貫流する。支流の佐中川、神子畑川、田路川、八代川、老波川、観音川、奥谷川、多々良木川、伊由谷川等がそれぞれ合流しており、これらの本流と支流流域には、農耕地が開け、28地区が散在しています。

朝来地域は昭和29年4月に中川村、山口村の合併により、人口10、800人余の町として誕生したが、三菱金属鉱業明延営業所の閉山などにより過疎化が急速に進行した。

しかし、昭和50年に関西電力奥多々良木発電所が完成し、電源基地になるとともに、近年、自然を利用した魅力ある産業形成、うるおいのあるふるさと文化の形成、思いやりにあふれる健康福祉づくり、快適な地域の形成を柱に、独創性を生かした活力のある「水と緑のロマン都市」を目指し、取り組みが進められてきました。平成17年度より、生野町、朝来町、山東町、和田山町の4町が合併し朝来市となり現在に至っています。

本校の生徒は純朴で明るく、学習や部活動、ボランティア活動等に意欲的に取り組んでいます。また、地域の学校教育への期待も大きく、本校生徒の健全育成を地域ぐるみで支援していただいている。

本校では校訓である。以下の3つの柱として、実践して参ります。

自 主	—	自ら進んで学び、自己実現を図る
創 造	—	伝統を大切にし、常に新しいものを求める
健 康	—	自らのいのちも、他人のいのちも大切にする

特に、特色ある教育活動として、

### (1) ボランティア活動の推進

地元で開催されるマラソン大会のスタッフや校区内の福祉施設・介護施設との交流など自主的に多くの生徒が参加しています。

### (2) 読書活動の充実

校区内小学校やあさご森の図書館と連携を深め、読み聞かせや本の紹介を行い、読書活動の充実に取り組んでいます。

### (3) キャリア教育の推進

特別活動を要としたキャリア教育の充実に取り組んでいます。校区内小学校や地域との連携を図り、9年間を通したキャリア教育を推進しています。

### (4) 道徳教育の推進

全ての教師が関わり、道徳の時間を要し、道徳教育に取り組んでいます。

### (5) 人権教育の充実

本校の人権教育目標の実現に向け、全ての教育課程での取組に加え、人権月間を設定しするなど人権についての学習を行っています。

また、学校運営協議会と連携し、地域に根ざし、地域から信頼され、そして魅力ある学校でありつづけるよう、職員一同、さらに努力していく所存です。本校の取組に対して、一層の温かいご支援ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年4月

朝来市立朝来中学校長 岩野 智哉